

1. 件名：ALPS 処理水の測定対象核種の選定に関する検討状況に係る面談
2. 日時：令和4年8月9日（火）13時30分～15時50分
3. 場所：原子力規制庁 18階会議室
4. 出席者
原子力規制庁
原子力規制部
東京電力福島第一原子力発電所事故対策室
竹内室長、岩永企画調査官、澁谷企画調査官、大辻室長補佐、松田室長補佐、小西係長、塩唐松係員、吉田技術参与
横山係長（テレビ会議システムによる出席）

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所 担当6名（うち、テレビ会議システムによる出席3名）
5. 要旨：
 - 東京電力ホールディングス株式会社から、ALPS 処理水の海洋放出時に測定する核種の選定に関して、前回面談（令和4年6月23日）における議論を踏まえた現在の検討状況について説明があった。
 - 原子力規制庁は、上記説明内容を確認したうえで、今後、核種分析やインベントリ評価、建屋滞留水への移行評価について適宜進捗を説明するよう求めた。
6. 資料
 - ・ ALPS 処理水の海洋放出時の測定・評価対象核種に係る検討状況
 - ・【参考】62 核種分析の位置づけ